郡市医師会長からの抱負

胆振西部医師会会長の再任に当たって

胆振西部医師会

会長　坪　　俊輔

この度、胆振西部医師会会長を再度仰せつかりました。コロナ禍という非常事態のなかで通常の会議の開催もままならず、前職のスライドというかたちでお引き受けした次第です。今後も諸先生方のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本年に入り私のクリニックでも血液透析部門をはじめ全部署でかなり厳密にコロナ感染防止対策を講じてきました。全職員の苦労は大変だったと思われますが、そのかいもあってか今までのところ大きなトラブルなく何とか乗り切って来ています。

当地区でも少数ながら簡易検査でコロナ陽性疑いの症例が出ました。結局PCR検査で陰性と判明しましたが、患者様・御家族の方々等に対するいわれのない長引く風評被害には驚くばかりで、今後不運にも感染した方々のその後の日常生活の諸権利の担保が大きな問題だと痛感する次第です。感染状況の公表の仕方等になお一考の余地があろうかと感じております。９月中旬より室蘭で新型コロナ感染症のPCR検査が可能となり、当地区の医療機関からの申し込みも可能となりました。野尻会長をはじめとして、室蘭市医師会諸先生方のご厚意に心より感謝申し上げる次第です。

最後に、当地区には高齢者施設・障害者施設が数多くあり、介護・福祉・医療の連携が地域経済を支えているという側面があります。今後万が一にもコロナの第２波・第３波が到来し、仮にこれらの施設でクラスターが発生すればどういう事態に陥るのか、実際に新型コロナ感染症の対応に携わった関係者の皆様のご苦労は勿論私の想像を大きく超えるものと思われますが、今後起き得る非常事態に備え当地区でも早急にコロナ感染対策を再構築すべきと考えているところです。１日も早い新型コロナ感染症の収束を祈っております。

医の倫理綱領

日本医師会

医学および医療は、病める人の治療はもとより、
人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、
医師は責任の重大性を認識し、
人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。